

寄贈図書リスト

西洋天文学史, Michael Hoskin, 中村 士翻訳, 新書判, 158頁, 1,000円+税, 丸善出版
空を見上げたくなる本, 山本光義, A5判, 130頁, 1,800+税, 技報堂出版
あなたもできる100問解いて天気予報, 山本光義,

A5判, 150頁, 1,400円+税, 技報堂出版
スターゲイザー, ティモシー・フェリス著, 桃井 緑美子訳, 渡部潤一監修, 四六変形判, 464頁, DVD付録, 3,800円+税, みすず書房
入門宇宙論, 高橋典嗣・二間瀬敏史・吉田直紀監修, A4判, 114頁, 1,680円, 洋泉社

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお, 原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

首都大学東京大学院理工学研究科教員

1. 助教1名
2. (1) 理工学研究科物理学専攻
(2) 南大沢キャンパス (〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1)
3. X線天文学, 高エネルギー宇宙物理の観測的研究。宇宙物理実験研究室に所属し, 協力して研究を行う。
4. 担当科目は物理学実験を予定
5. (1) 2014年4月1日以降なるべく早い時期
(2) 5年 (更新1回, 更新後の任期は5年)
*労働契約法の改正に伴い, 任期および再任に関する事項については変更になる可能性があります。詳しくは本学ホームページ (http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/tmu.html) を御参照ください。
*ただし, 65歳となった年度の末日をもって退職となります。
6. 着任時に博士の学位を取得済みの方。女性の積極的な応募を歓迎します。
7. ①履歴書 (様式1) ②研究業績リスト (様式任

意), ③主要な研究論文の別刷・コピー5編以内各1部, ④研究業績の概要 (研究, 教育・指導実績, 外部資金, 社会貢献を含む) 2,000字程度 (様式任意), ⑤採用後の活動計画 (研究, 教育, 社会貢献を含む) 2,000字程度 (様式任意), ⑥応募者について所見を伺える有識者2名の氏名・肩書き・連絡先のリスト (様式任意)

*選考の過程で, 応募者に関して照会可能な有識者の追加, 推薦書の提出をお願いする場合があります。

*所定様式 (様式1) および記入要領は下記ホームページからダウンロードすることが可能です。
http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/tmu.html

8. 2013年10月7日 (月) (必着)
9. (1) 〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 公立大学法人首都大学東京 総務部人事課 人事制度係
(2) 公募全般
公立大学法人首都大学東京 総務部人事課 人事制度係
Tel: 042-677-1111 (内) 1027
e-mail: kyoinsaiyo@jmj.tmu.ac.jp
専門分野
首都大学東京理工学研究科物理学専攻長
政井邦昭
Tel: 042-677-2502 (直通)
e-mail: info-raxa@phys.se.tmu.ac.jp
物理学専攻サイト <http://www.phys.se.tmu.ac.jp/>
10. ・簡易書留で一括郵送してください (宅配便可)
・封筒等に「教員公募書類 (2507物理・宇宙実験) 在中」と朱書きしてください。

・応募書類は返却しません。あらかじめご了承ください。

※上記取扱いのため、万一高価な書類等を送付される場合は、その点をご留意の上ご応募下さい。

※電子メールによるご応募は受け付けておりません。

11. 1次選考：書類選考

2次選考：1次選考通過者に対して、11月中旬頃に面接を行います。なお、時間・場所等の詳細は、別途1次選考通過者にご連絡します。

※2次選考にあたり必要となる旅費・滞在費等は応募者の負担となります。また、可否は該当部署から通知されます。

本学は、ダイバーシティに配慮しており、特に女性の積極的な応募を歓迎します。本学のダイバーシティへの取組については、以下をご参照ください。（ダイバーシティ推進室）

<http://www.comp.tmu.ac.jp/diversity/index.html>

国立天文台研究教育職員（TMT 推進室）

1. 准教授1名

2. (1) 国立天文台TMT推進室

(2) 東京都三鷹市（米国カリフォルニア州パサデナへの長期出張あり）

3. 天文学及び関連分野

4. 国立天文台TMT推進室は、国際共同科学事業として、ハワイ島マウナケア山頂に口径30mの超大型望遠鏡TMTを建設することにより、日本の研究者がTMTを使った研究で世界的な成果を上げることを目指している。日本が担当する望遠鏡本体と周辺サブシステムとのインターフェース条件を米国カリフォルニアのTMT本部や関連企業と協議・整備することが急務となっている。このために、TMT推進室では、望遠鏡のインターフェースのマネージメントリーダーとして、大型望遠鏡の運用、観測装置開発マネージメント、国際共同開発等の実績、能力を有する准教授を公募する。詳細については下記を参照して下さい。

<http://tmt.mtk.nao.ac.jp/recruitment-j.html>

5. (1) 決定後なるべく早い時期

6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方

7. (1) 履歴書（写真貼付）、(2) 論文リスト、(3) 研究歴、(4) 研究計画書、(5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先

8. 2013年8月30日（金）必着

9. (1) 応募書類はappl-tmt-associate20130830@nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。

(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台TMT推進室室長 家 正則

Tel: 0422-34-3520

e-mail: m.iye@nao.ac.jp

10. すべての応募書類（上記7.の(1)～(5)）はそれぞれPDFファイルに変換し、メールに添付すること。（各書類をまとめて一つのPDFファイルにしないこと。また、ZIPファイルに入れたり圧縮したりしないこと。）

・PDFは解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること（10MB程度まで）。

・応募書類が受理されると確認のメールを送るので、それが届かない場合には、appl-tmt-associate20130830@nao.ac.jpへお問い合わせください。

11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://jouhoukouai.nao.ac.jp/danjokuyodo/>をご覧ください。

国立天文台研究教育職員（ハワイ観測所助教）

1. 助教1名

2. (1) 国立天文台ハワイ観測所

(2) アメリカ合衆国ハワイ州ヒロ

3. 天文学、関連工学分野

4. 国立天文台ハワイ観測所では、すばる望遠鏡による共同利用観測を推進すると同時に、将来に向けての様々な開発研究を行っています。すばる望遠鏡を安定且つ安全に運用しつつ、望遠鏡部門においてリーダーシップを担い、新規装置搭載のための望遠鏡やドームの改造や、望遠鏡の性能向上のための研究開発も進めることのできる助教を求めます。職務および必要な能力の詳細については、下記を参照してください。

http://www.naoj.org/Announce/2013/07/11/j_index.html#1

5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期

(2) なし（5年目に助教としての再審査を行い、他の適切な職務に異動させることがあります）

6. 大学院修士課程修了、またはそれと同等以上の方

7. (1) 履歴書、(2) 論文リスト、(3) 研究業績、(4) 研究計画書（個人で行う研究の計画に加え、ハワイ観測所で望遠鏡・装置に関する研究・開発を担い、高い科学的成果を上げるにあたっての抱負・方針を具体的に記入してください）、(5) 本人について意見を述べられる方3名の氏名と連絡

- 先, (6) E-mail アドレス
8. 2013年9月20日(金) 必着
 9. (1) 応募書類を appl_hawaii_assis20130920@nao.ac.jp へメール添付で送付
 - (2) 国立天文台ハワイ観測所長 有本信雄
Subaru Telescope, 650 North A'ohoku Place,
Hilo, HI 96720, U.S.A.
e-mail: arimoto@nao.jorg
 10. すべての応募書類(上記7.の(1)~(6))はそれぞれPDFファイルに変換し, メールに添付すること。ただし, 各書類をまとめて一つのPDFファイルにしたり, また, ZIPファイルに入れたり圧縮したりしないこと。
 - ・PDFは解像度に注意し, あまり容量が大きくなりすぎないようにすること(10MB程度まで)。
 - ・応募書類が受理されると確認のメールを送るので, それが届かない場合には, appl_hawaii_assis20130920@nao.ac.jp へお問い合わせください。
 11. 選考は国立天文台運営会議で行います。国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し, 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており, 業績の評価において同等と認められた場合には, 女性を積極的に採用します。詳しくは
<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokyodo/>
をご覧ください。

名古屋大学大学院理学研究科・素粒子宇宙物理学専攻・助教

1. 助教1名
2. (1) 名古屋大学大学院理学研究科
素粒子宇宙物理学専攻 宇宙物理研究室
(U研) X線グループ
- (2) 名古屋市
3. X線天文学(実験)
4. 飛翔体を用いた高エネルギー天体の観測的研究, ならびに宇宙X線観測装置の開発研究, 大学院・学部の教育と研究指導。
5. (1) 決定後早期
- (2) 2018年3月末, 再任可
6. 博士号取得者, または着任時までの取得見込み者
7. ○履歴書(顔写真, e-mail, 着任可能時期を明記), ○研究業績リスト, ○主要論文別刷3編以内(コピー可, 各2部), ○研究業績概要, ○着任後の研究計画, ○推薦書または意見書2通
8. 2013年9月30日(月) 必着
9. (1) 〒464-8602 名古屋市千種区不老町

- 名古屋大学大学院理学研究科・素粒子宇宙物理学専攻
物理学教室主任 犬塚修一郎
- (2) 同専攻・物理学教室 田原 譲
Tel: 052-789-2554
e-mail: tawara@u.phys.nagoya-u.ac.jp
 10. 封筒に「宇宙物理研究室助教応募書類(または推薦書, 意見書)」と朱書き簡易書留で送付。応募書類は原則として返却しない。
 11. 本学は男女共同参画を推進しており, 詳細は以下のURLを参照のこと。<http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/declaration/positive/>

茨城大学理学部物理学領域(宇宙)教員

1. 准教授1名
2. (1) 茨城大学理学部物理学領域
- (2) 茨城県水戸市
3. 宇宙物理学(理論)または観測天文学
4. 本学に在籍する教員と協力しながら, 学部・大学院・全学共通教育での講義・実験・演習等の教育や学部および大学院生に対する研究指導を積極的にを行い, 研究を独立して意欲的に推進できる方。学部および大学院の運営にも積極的に貢献いただける方。
5. (1) 2014年4月1日
- (2) なし
6. 博士号取得者
7. (1) 履歴書(フォーマット自由), (2) 研究業績リスト(査読付き原著論文, 国際会議集録, 著書, 総説, その他に分類), (3) これまでの研究概要と今後の研究計画, (4) 教育への抱負, (5) 主要論文別刷5編以内(コピー可), (6) 申請者について意見を述べられる方2名(国内外を問わない)の氏名と連絡先(e-mailも含む)
8. 2013年10月28日(月) 必着
9. (1) 〒310-8512 水戸市文京2-1-1
茨城大学理学部 吉田龍生
- (2) 吉田龍生
Tel: 029-228-8354
e-mail: yoshidat@mx.ibaraki.ac.jp
または百瀬宗武
Tel: 029-228-8402
e-mail: momose@mx.ibaraki.ac.jp
10. 封筒の表に「物理学領域教員(宇宙)応募書類在中」と朱書き, 簡易書留にて郵送のこと。応募書類は返却しない。なお選考過程で必要と判断した場合, インタビューを実施することがあります

(旅費等は自己負担)。

- 茨城大学理学部の教員公募に関連して提供された個人情報については、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の個人情報を除き、すべての個人情報は責任をもって破棄いたします。

東京大学宇宙線研究所教授 (重力波推進室神岡分室)

- 教授1名
- (1) 宇宙線研究所重力波推進室神岡分室
(2) 岐阜県飛騨市神岡町
- および4.
大型低温重力波望遠鏡(KAGRA)プロジェクトにおいて現教授と協力して神岡にて建設を主導的に推進し、建設完了後はKAGRAの運用に責任をもってあたり、広くKAGRAに関連した国内外の重力波コミュニティを取りまとめ、重力波のサイエンスを推進していただける方。
- (1) 平成26年4月以降のなるべく早い時期
(2) なし
- なし
- (1) 履歴書, (2) 研究歴 (A4判3枚以内), (3) 業績リスト (論文リスト, 研究発表リスト等), および主要論文別刷 (5編以内)。提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにすること。(4) 着任可能時期, (5) 着任後の研究計画 (A4判3枚以内)
- 平成25年10月18日(金) 17時必着。
- (1) および (2)
〒277-8582 千葉県柏市柏の葉5-1-5
東京大学宇宙線研究所長 梶田隆章
Tel: 04-7136-3100
- 書類は「宇宙線研究所教授(重力波)応募書類在中」と朱書きし、書留で郵送(海外在住者は書留に相当する方法で送付)してください。
- 選考は、書類選考の後、面接を受けていただくことを原則とします。(面接を受けていただく方には詳細を連絡します。)[東京大学男女共同参画加速のための宣言]に基づき、女性の応募を歓迎します。

人事公募結果

国立天文台研究教育職員(ハワイ観測所) 准教授

- 2013年1月(第106巻第1号)

- 岩田 生(国立天文台)
- 2013年6月1日

京都大学・大学院理学研究科宇宙物理学教室・准教授

- 2013年2月(第106巻第2号)
- 前田啓一(東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構・特任准教授)
- 2013年9月1日(予定)

東京大学大学院理学系研究科物理学専攻 (物理学教室) 教員

- 2013年7月(第106巻第7号)
- 大栗真宗(東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構・特任助教)
- 2013年8月16日

賞の推薦

一般財団法人女性科学者に明るい未来をの会
会長 米沢富美子

2014年度(第34回)「猿橋賞」受賞候補者の 推薦依頼について

女性科学者に明るい未来をの会は、「女性科学者のおかれている状況の暗さの中に、一条の光を投げ、いくらでも彼女らを励まし、自然科学の発展に貢献できるように支援する」という願いをこめ、1980年に創立されました。この創立の趣旨を継承し、当会は、これまで自然科学の分野で、優れた研究業績を収めている女性科学者に、毎年、賞(猿橋賞)を贈呈してまいりました。第34回猿橋賞の募集を開始いたしました。

記

- 対象: 推薦締切日に50歳未満で、自然科学の分野で、「創立の主旨に沿った」優れた研究業績を収めている女性科学者
- 表彰内容: 賞状、副賞として賞金30万円、1件(1名)
- 応募方法: 当会のホームページ
<http://www.saruhashi.net/>
から推薦書類をダウンロードし、A4用紙に印刷して、①推薦者(個人・団

体、自薦も可)・受賞候補者の略歴・推薦対象となる研究題目 ②推薦理由(800字程度)、および③研究題目に関連する主な業績リスト(指定は1頁です。やむを得ない場合でも追加は1頁までです)を記入して、主な論文別刷5編程度(2部ずつ、コピーも可)を添え、5)の推薦書類送付先までお送りください。

4) 締切日: 2013年11月30日(必着)

5) 推薦書類送付先:

〒270-1147 千葉県我孫子市若松165-5
女性科学者に明るい未来をの会

(当会の本宛先は推薦書受付専用です。書類は、猿橋賞選考のためにのみ選考委員会などで用いられます。書類は返却いたしませんのでご了承ください)今後、募集要項に変更がある場合は、ホームページに掲載いたしますので、応募の際はホームページをご確認ください。なお、この件についてのお問い合わせは、下記に電子メールでお願いいたします。

saruhashi2014@saruhashi.net

2013年朝日賞候補者推薦依頼

朝日新聞文化財団より推薦依頼がきております。日本天文学会へご応募くださるようお願いいたします。朝日賞については、

URL: <http://www.asahi.com/shimbun/award/asahi/>を参照してください。

締切: 2013年8月5日(月)日本天文学会必着

応募方法: 朝日賞(自然科学)推薦票に以下の項目を記入し、jimu@asj.or.jp宛にお送りください。推薦票が必要な方は、応募メールの件名「2013年度朝日賞応募〈お名前〉」として日本天文学会事務所(jimu@asj.or.jp)までご請求ください。

- ・業績の題目
- ・候補者の項目
- ・参考資料の項目

研究会・集案案内

国立天文台岡山天体物理観測所・岡山天文博物館 特別公開 2013のご案内

日時: 2013年8月31日(土) 9:30~16:30

(雨天決行)

場所: 岡山県浅口市鴨方町本庄
国立天文台岡山天体物理観測所・岡山天文博物館

共催: 浅口市教育委員会

後援: 矢掛町教育委員会

内容: 岡山天体物理観測所では
特別講演 12:30から13:30

講師 林正彦

(国立天文台台長)

ミニ講演 10:30, 13:30, 15:30からの45分

講師 長田哲也

(京都大学大学院理学研究科教授)

188 cm反射鏡見学

11:15から, 14:30からの2回

岡山天文博物館では

プラネタリウム投映

9:35から, 10:00からは30分ごと

天体・星座ビンゴゲーム

10:30, 13:00, 15:30からの3回

など

入場料: 無料

駐車場: 普通車約30台駐車可(当日は混雑が予想されます)

無料シャトルバス: JR鴨方駅前⇄浅口市中央公民館北側⇄観測所, で運行します。

なお、浅口市中央公民館北側(浅口市天草公園)には無料駐車場があります。

詳しい内容、各イベントの開始時刻、シャトルバスの出発時刻は観測所ホームページをご覧ください。

問合せ: 自然科学研究機構

国立天文台岡山天体物理観測所

〒719-0232 岡山県浅口市鴨方町本庄3037-5

Tel: 0865-44-2155 [代表]

(平日の10:30~17:00)

Fax: 0865-44-2360

URL: <http://www.oao.nao.ac.jp/>

会務案内

I. 公益社団法人日本天文学会2012年度(2012年12月28日~2013年3月31日)事業および決算の報告

特例社団法人日本天文学会では、秋季年会時に総会が開催され、事業報告と決算報告の承認を行ってきました。そのため、これまで事業報告書と決算報告書の全文を天文月報に掲載してきました。一方、公益社団

法人移行後、事業報告と決算報告の承認は代議員総会にて行うことになり、正式な報告書は電子版で天文学会ホームページ上 (<http://www.asj.or.jp>) で公開することとなりました。そこで、今年度より天文月報には簡単な事業・決算報告のみを掲載することとしました。報告書を全文掲載しないことで、天文月報の出版費用の削減にもなりますので、なにとぞご理解いただきますようお願い申し上げます。書面による配付を希望される方には別途郵送いたしますので、学会事務所まで御連絡ください。なお、2013年4月24日に2012年度事業・決算の監査報告会が開催され、監事が2012年度事業報告・決算報告とも正当であることを確認しております。

I-1. 2012年度事業の報告

特例社団法人から公益社団法人への移行に伴い、2012年度は2012年12月28日～2013年3月31日の約3カ月でした。それに伴い、学会事業も通常年度と比べ、少なめとなっておりますが、活動内容はおおむね例年どおりでした。欧文研究報告、天文月報、年会予稿集、ジュニアセッション予稿集の刊行、各種委員会活動、各賞の授与、助成金（早川基金：4名に総額約56万円援助、学術交流費：年会学生発表者15名総額約30万円補助、内地留学奨学金：1名に約25万円支給）、後援事業に関する事業を行い、会員名簿（隔年発行）を発行しました。詳しい事業報告は学会ホームページを参照してください。

2013年3月31日の会員数は以下のとおりです。

	正会員（内学生）	準会員	団体会員	賛助会員	合計
2012年12月27日	1,767 (322)	1,216	39	44	3,066
入会	50 (43)	18	0	0	68
退会	59 (27)	74	2	2	137
移籍（増）	8 (1)	12			
移籍（減）	12 (0)	8			
正会員へ（学生減）	(85)				
2013年3月31日	1,754 (254)	1,164	37	42	2,997

（注：移籍とは正会員、準会員との間の移動のことを指す）

（文責庶務理事：中村文隆）

I-2. 2012年度決算の報告

2012年度の経常収益は20,446,690円、経常費用は24,584,646円で、経常収益・経常費用とも通常年度の約1/4でした。学会の正味財産は4,137,956円減って120,525,941円となりました。受取会費は9,920,250円

で、一般事業および法人会計に充てています。一般事業はこの会費と事業収益で運営され、助成事業はご寄付によって運営されています。事業別決算書内訳表は以下のとおりです。

事業別決算書内訳表

2012年12月28日から2013年3月31日まで

公益社団法人 日本天文学会

（単位：円）

科目	公益目的事業会計					
	一般事業					
	共通事業	欧文事業	月報事業	年会事業	その他の事業	小計
経常収益計	4,975,253	2,820,930	908,210	5,190,900	46,300	13,941,593
経常費用計	2,060,686	6,215,892	4,053,755	3,600,737	2,078,958	18,010,028
当期経常増減額	2,914,567	△ 3,394,962	△ 3,145,545	1,590,163	△ 2,032,658	△ 4,068,435

科 目	公益目的事業会計						
	助成事業						公益目的 事業合計
	学術交流 費事業	内地留学 事業	研究奨励賞 事業	早川基金 事業	林賞事業	小計	
経常収益計	288	248,735	339,162	566,679	312,903	1,467,767	15,409,360
経常費用計	294,000	248,735	403,737	566,679	433,653	1,946,804	19,956,832
当期経常増減額	△ 293,712	0	△ 64,575	0	△ 120,750	△ 479,037	△ 4,547,472

科 目	法人会計	内部取引 消去	合 計
経常収益計	5,037,330	0	20,446,690
経常費用計	4,627,814	0	24,584,646
当期経常増減額	409,516	0	△ 4,137,956

(文責会計理事：熊谷紫麻見)

II. 2013-2014年度日本天文学会会長、副会長の決定のお知らせ

5月26日開催の代議員総会において、2012年度事業報告と2012年度会計報告が承認され2012年事業年度が終結し、2012年度理事会が解散されました。これに伴い、2013年2月24日開催の代議員総会で選出された理事により新理事会が発足しました。このたび、会長・副会長・理事・監事選考細則第14条に基づき、新理事会で6月10日付で新会長、副会長を下記のとおり選任いたしましたので報告いたします。なお今回は、定款第40条（決議の省略）により全理事メンバーが電子メールにて同意し決定されたことを申し添えます。

日本天文学会

会長 櫻井 隆
(国立天文台研究連携主幹・教授)
副会長 奥村幸子
(日本女子大学理学部・教授)
山田 亨
(東北大学大学院理学研究科・教授)

2013年度日本天文学会 林 忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林 忠四郎賞選考委員会
標記の二つの賞について、受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも2013年11月11日

(月) (必着) です。以下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送してください(論文賞についてはe-mailも可)。なお、封筒には「林 忠四郎賞候補推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記してください。特に返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞とも本会春季年会開催時の会員全体集会にて行う予定です。

2013年度(第18回)林 忠四郎賞推薦要領

この賞は、林 忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士が日本天文学会に寄付された金額を基金にして設定されたものです。

対象：広い意味での天文学(天体物理学、宇宙物理学、他の関連テーマも含む)における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

授賞件数：原則として各年に1件。

賞状等：本賞として賞状、副賞として賞牌(メダル)および賞金(30万円)。

推薦書の形式：表題は「2013年度 林 忠四郎賞候補者推薦書」としてください。A4サイズの用紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者(被推薦者、連名授賞可)について：氏名(ふりがな)、生年月日、大学卒業年、現職および連絡先(電話、Fax、e-mail)
- 2) 授賞対象とする研究の表題(英語表記も)
- 3) 推薦者について：氏名(ふりがな)、現職、連絡

先（電話、Fax、e-mail）、被推薦者との関係

- 4) 推薦理由の要旨（300字以内）
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3編以内）

2013年度（第18回）欧文研究報告論文賞 推薦要領

この賞は、良い論文がPublications of the Astronomical Society of Japan (PASJ) に投稿・出版されるのを奨励するために設定したものです。なお、本賞の選考委員会は、林 忠四郎賞選考委員会が兼ねることになっています。

対象論文：原則として過去5年以内にPublications of the Astronomical Society of Japan に出版された論文のうち、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文の著者（共著の場合はすべての共著者）に授与する。

授賞件数等：原則として1年に2件以内。賞状と副賞を授与する。

推薦書の形式：表題は「2013年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」としてください。A4サイズの用紙（e-mailでも可）に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補論文について：論文題目、筆頭著者名、出版された巻、ページ、発行年
- 2) 推薦理由（1,000字程度）
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな）、現職・連絡先（電話、Fax、e-mail）、被推薦者との関係
- 4) e-mailで推薦する場合はjimu@asj.or.jp宛に送信して、受領メールを必ず確認ください。

2013年度研究奨励賞（第25回）受賞候補者 推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近5年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日（ただし、本年度に限り2013年1月1日）で35歳以下の者*であって、毎年3名以内を対象とし、賞状、賞牌（メダル）および賞金（10万円）を併せ授与しています。

(* 来年度からは、4月1日を初日とします。)

受賞候補者の推薦要領は

- (1) 締切：2013年11月11日（月）必着
- (2) 提出書類：○候補者氏名、会員番号、現職、生年月日、○授賞対象とする研究の表題（英語表記も）、○推薦者の氏名、現職、連絡先、○推薦理由（300文字程度の要旨とA4で2～3枚程度の本文）、○関連論文リスト、○推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3編以内）
- (3) 提出先：できるだけ、e-mailで応募して下さい。e-mailの場合はjimu@asj.or.jp宛にsubject「2013研究奨励賞応募 氏名」としてお送りください。また、提出書類は一つのPDFにまとめ、ファイル名を「2013kenkyushorei full name」としてください。

郵便で提出する場合は

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

日本天文学会研究奨励賞選考委員会

選考委員会では推薦された方の中から、研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を代議員総会に推薦します。

2013年度（第13回）天文功労賞候補者 推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は、近年多岐にわたっている研究機関外での天文活動、例えば長年の天体観測や、突発的な現象の検出や的確な通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。対象者は、「天文研究を主たる業務としない」個人および団体で、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。

天文学会の会員の方々からの候補者（団体）推薦を、広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者（団体）名、功績名（1行程度）、功績の説明を書いたいただき、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内/Fax: 0422-31-5487/jimu@asj.or.jp）にお送りください。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。

推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、2013年12月31日までにお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

編集委員会より

天文月報表紙デザイン案大募集!

2014年1月号から12月号までの表紙を飾るデザインを募集します。表紙は、題字(『天文月報』の文字)、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー写真および背景イラストから構成されます。月号違うイラストでも、同じデザインで色違いでも構いません。具体例は、今年または過去の天文月報をご覧ください。

(天文月報のホームページのバックナンバー(<http://www.asj.or.jp/geppou/contents/index.html>)に表紙画像があります。)

応募される方は、新設の天文月報投稿用アップローダーまで、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。形式は問いません。雑誌のサイズは、B5判タテ(182ミリ×257ミリ)です。採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。また、採用者をご紹介いただいた会員の方には粗品を差し上げます。

締切り: 2013年9月末日

送り先: 天文月報編集委員会

以下の天文月報投稿用アップローダーまで

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまず必要事項を埋めてください。するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。1回あたり全部で最大20 Mbyteまで送信できます。(それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください。)

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。その場合は従来どおり、toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は yousuke.utsumi@nao.ac.jp まで、またその他のご質問は [toukou@geppou.asj.or.jp](http://www.asj.or.jp/geppou) までお願いします。

(天文月報編集長)

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と) **vol98**(5文字)の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○一▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 市来浄與, 大栗真宗, 勝川行雄, 富永 望, 平松正顕, 廣田朋也, 馬場 彩, 前野将太, 町田正博, 吉田二美

平成25年8月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2013年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)